

第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）のご案内（第 1 次）

札幌医科大学産婦人科学講座

齋藤 豪

このたび 2018 年第 59 回春期大会の会長を担当させていただくことになりました。

私は昭和 61 年札幌医科大学を卒業後に日本臨床細胞学会に入会し、諸先輩の指導を受けながら平成 5 年に細胞診指導医を取得、平成 12 年よりは評議員、平成 17 年からは理事として学会活動に尽力して参りました。特に 2010 年より 2 年間倫理委員会委員長、2012 年より教育委員会委員長、そして 2014 年より専門医委員会委員長と常務理事として学会運営に深く関わることができました。これらの活動を通じ私が日本臨床細胞学会に対して感じることは、臨床医にとって学会そして細胞診断が遠い存在になりつつあるのではないかという危機感でした。私が属している婦人科領域においても HPV 検査をはじめとし、癌の早期診断の手法として細胞診以外にも新しい技術が開発され、細胞診の重要性が相対的に低下していると思われつつあるのではないか、その辺が私の漠然とした危機感です。それを克服するのは日本臨床細胞学会に与えられたテーマであるかもしれませんが、新しい手法を取り入れた細胞診断を学会が率先して提案することが大切と考えます。そのためには細胞診断を用いる一人一人が細胞診に対する深い知識が必要です。若い臨床医に細胞診に興味を持ってもらえ、専門医には知識をリフレッシュする機会を作る、そういう学術集会を実現したいと考えております。

会期：2018 年 6 月 1 日（金）-3 日（日）

会場：ニトリ文化ホール（札幌市）

会長：札幌医科大学産婦人科学講座・教授

齋藤 豪

テーマ：癌の早期診断の手法としての細胞診と新技術の融合

事務局：〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

札幌医科大学産婦人科学講座

森下美幸

連絡先：TEL:011-561-5160 FAX:011-614-0860

第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

会長 齋藤 豪